

スプレー缶による火災に注意！

虫除けスプレーや消臭スプレーなどのスプレー缶の多くに可燃性ガスが含まれています。誤った使用方法、廃棄方法により火災になるケースがあるので十分注意しましょう。



ご使用（廃棄）上の注意点

- ① 火気を使用している室内で大量に使用しないでください。
- ② 高温になると破裂する危険があるため、直射日光の当たるところやストーブやコンロの近くなど温度が40℃以上になるところには置かないでください。
- ③ スプレー缶を廃棄する場合は、火気のない風通しの良い屋外で、ガス抜きキャップなどを利用して空になったのを確認してから捨てましょう。
- ④ 穴をあける際は、火気のない風通しの良い屋外で行いましょう。
※あわら市、坂井市では、スプレー缶を廃棄する際は、穴をあける必要があるの
で注意しましょう。

【管内での火災事例】

ごみ収集車で不燃ごみを回収した際に、混じっていたスプレー缶が圧縮され破裂したことにより、残っていた可燃性ガスが漏れ出し、衝撃火花により引火し周囲のごみ類に着火した。

